

授業科目名	債権総論 I	※選 択	開講年次	3	単位数	2
科目区分	専門科目					
サブタイトル	民法の基礎を学ぶ（その5）	担当者	勝田 信篤			
講義概要	<p>【概要】 債権総論の前半について、具体的な例を挙げながら解説する。 講義は板書および口頭での解説による。基本的なことは必ず板書するので、まずこれを理解することを第一に考えてほしい。尚、授業中の私語、携帯電話等の使用を禁ずる。</p> <p>【到達目標】 学習した内容を現実の事案にあてはめて、適当な解決方法を導けるようになる。</p>					
履修条件	特になし					
教科書・参考書	<p>【教科書】角紀代恵『債権総論』新世社、2300 円、 六法(どの出版社のものでもよい。ただし、平成 23 年版。授業の際には必ず持参すること)</p> <p>【参考書】鎌野邦樹他『確認民法用語 300』成文堂、600 円。</p>					
授業回数	内容					
1	債権総論序説					
2	債権と債務					
3	特定物債権、種類債権、金銭債権、選択債権					
4	債務不履行					
5	債務不履行					
6	債務不履行					
7	債権者代位権					
8	債権者代位権の転用					
9	詐害行為取消権					
10	分割債権・分割債務、不可分債権・不可分債務					
11	連帯債務					
12	連帯債務					
13	連帯債務					
14	まとめ					
15	判例を読む					
評価方法	期末試験を特に重視するが、出席、授業への参加度等も加えて、総合的に評価する。					
評価基準	A：授業内容を理解しており、応用力もある、B：授業内容を理解している、C：最低限の基礎力を備えている、D：基礎力が不足している、E：基礎力が著しく不足している。					
その他	<p>【自宅での学習例】ノートを見ながら、その日の授業内容を再現してみる。疑問点が生じたら、まず教科書、参考書等で調べ、それでもわからなければ、次回の授業時に質問する。</p> <p>※Eカリキュラム（経営法）コースの学生は選択必修科目</p>					